

THE 1984 4 KOBECO

APRIL NO. 276

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和59年4月1日印刷 通巻276号
昭和59年4月1日発行 毎月1回1日発行



'84 BENIYA SIMPLISTIC ELEGANCE



Christian Dior OP(コットン&リネン) ¥78,000

OP(コットン100%) ¥66,000

陽春シンプリスティック!

気をもたせた遅い春の訪れ、それだけにいっそうシンプルな
陽気さが望まれるスプリング・ファッション。

そんな期待にみちみちた＜ベニヤ＞シンプリスティック・エレガント——
クリスチャン・ディオールのバラエティが明るく優美な光と風をまねくかのよう!
よりスポーティでカジュアル、季節感あふれる＜ベニヤ＞の
ワイドなスプリングコレクションへのいざないです。



BENIYA
KOBE・OSAKA・TOKYO

本店/神戸市中央区三宮センター街1丁目ニューセンター1F・2F ☎332-2135

TASAKI SHINJU

30周年
創立30周年



海の星を身につけて、あなたは今宵の星になる。

Classic Design Collection



昼と夜と、

以前ほどコスチュームは区別されなくなりました。

トラディショナルとモダン。フォーマルとカジュアル。

そんな言葉ではつかまえられない、

新しいモードの時代。

それだからでしょうか。香水やジュエリーの演出が、
それぞれのシーンで大切になってきました。

美・意識の時代に、

「ジュエリー文化」は育ちます。

この素晴らしい世界を次代へ。

オヒドメ 1917年デザイン

MIKIMOTO

神戸＝神戸国際会館 TEL(078)221-0062 大阪＝梅田・新阪急ビル1階 TEL(06)341-0247 京都＝河原町・BALビル4階 TEL(075)241-2970 C 1984-4

スケッチブックから〈64〉

ヨーロッパを描く

スイスの車掌



絵・西村 功

特別展

「眼鏡絵と東海道五拾三次展」

会期 昭和59年4月21日(土)～5月27日(日)

広重の「東海道五拾三次」、応挙の「眼鏡絵」、のぞき眼鏡を展示し、浮世絵が西洋画法の影響を受けていく様子を展示します。



広重作 「江戸名所霞ヶ関眺望」

併設展一かな書家の故安東氏の遺品遺作を展示
「受贈記念 安東聖空展」

- 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 月曜休館(但し5月1日休館、4月30日開館)
- 入館料／一般600円(500円) 高大生400円(300円)
小中学生200円(100円)()は30名以上の団体料金

神戸市立博物館



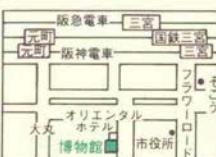
神戸市中央区京町24番地

☎ (078) 391-0035

■国鉄「三ノ宮」「元町」から南へ徒歩約10分

■阪急「三宮」阪神「三宮」または「元町」から

南へ徒歩約10分



モダンダンスの宝庫ニューヨークから

アルビン・エイリー 舞踊団



6月22日(金)

6:30開演

ALVIN
AILEY

〈入場料〉

- | | |
|---|--------|
| S | ¥6,000 |
| A | ¥5,000 |
| B | ¥4,000 |
| C | ¥3,000 |

〈プログラム〉

- 1 オーティス組曲
- 2 ISBA(イズバ)
- 3 クライ
- 4 スタック・アップ

チケットは主要プレイガイドで発売中



神戸文化ホール

☎ (351) 3535

主催／神戸市・神戸文化ホール

後援／外務省・文化庁・アメリカ大使館・日本文化財団・朝日新聞社

MINAMI INTERNATIONAL SKELETON SYSTEM



スケルトンシステム

ライフスタイルを考えれば

アーバンライフもファッショナリ

世界でもユニークな
街づくりとして注目をあ
びはじめたファッショント
ウン。ファッショント都市神
戸は、いつも新しいライフスティ
ルを追求しつづけます。

〈衣・食・住〉すべてファッショ
ンの時代である。これからマ
ンションライフこそ、最も重要
なファッショントといえるの
ではないでしょうか。

グランドパレス君影は、
ライフスタイルをファ
ッショナブルライフ
スタイルとして実現
させた「スケルトン
システム」による
新しいマンション
です。



グランドパレス君影 完成予想図





エイプリルシャワー

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761 代表

のんびり屋さんが絵をかくと

杉山知子

（京都市立芸術大学
大学院生・画家）
カメラ：松原卓也

ドアを開いたとたん、パツと飛び散った小動物たちの影を見たような錯覚を感じる部屋、そこが彼女のアトリエだ。グリム童話に出てくる7人の小人たちが、ドア蔭に隠れ潜んでいて、白雪姫が一人、折りたたみのパイプ椅子にぼつんと座っている。そんな物語性が彼女に漂う。ビジネス街の一角、およそ創造的空間とは思えない殺風景な白い壁に囲まれたビルの一室——そこにはダンボールやホース、発泡スチロールなどを素材に青や赤、黄に塗りつぶされた平面作品群がのたうつように展示されている。

「のんびり屋さんが絵を描くと、『過激』になるらしいの。だから、よけいにみんなは私がはみ出すことを期待しているみたいで」目の覚めるような美しい色彩感覚と、カンバスの四角い枠を飛びだした形あるものたち。野菜や果物、観葉植物類が何やら懷し気に感じる。観る者においておいでをしているような暖かさで描かれている。近代美術館、3月の第10回アート・ナウで話題をまたいだ彼女、今後の活躍が大いに楽しみだ。

兵庫生れの神戸つ子、おだやかな微笑が出来逢う人びとを優しい気持ちにさせる、不思議な女性だ。

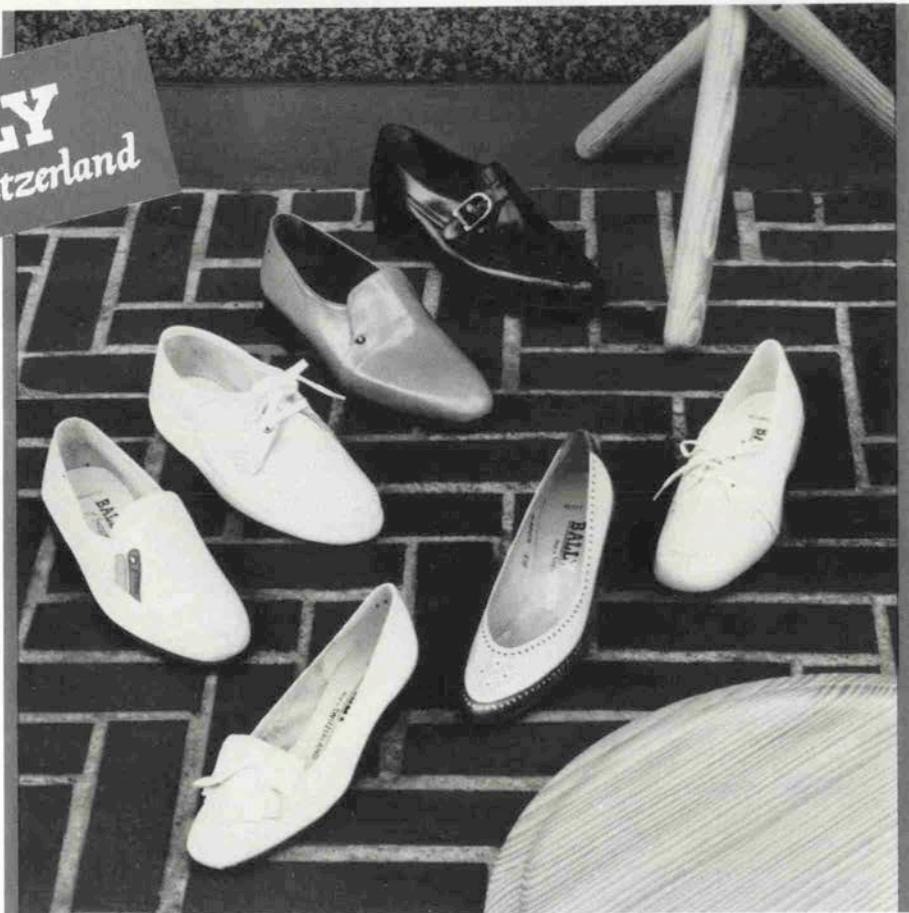
蟹座。

（アトリエにて）



BALLY
of Switzerland

'84春新作バリー・シューズが
トア・ロード《クロス》に
到着しました。ぜひお立寄り下さい。



靴と舶来雑貨

世界の一流品をあつめた

クロス

神戸トア・ロード ☎078(391)1781 三宮生田筋店 ☎078(331)5983
神戸ポートピアホテル・パレビアンカ2F ☎078(302)1558

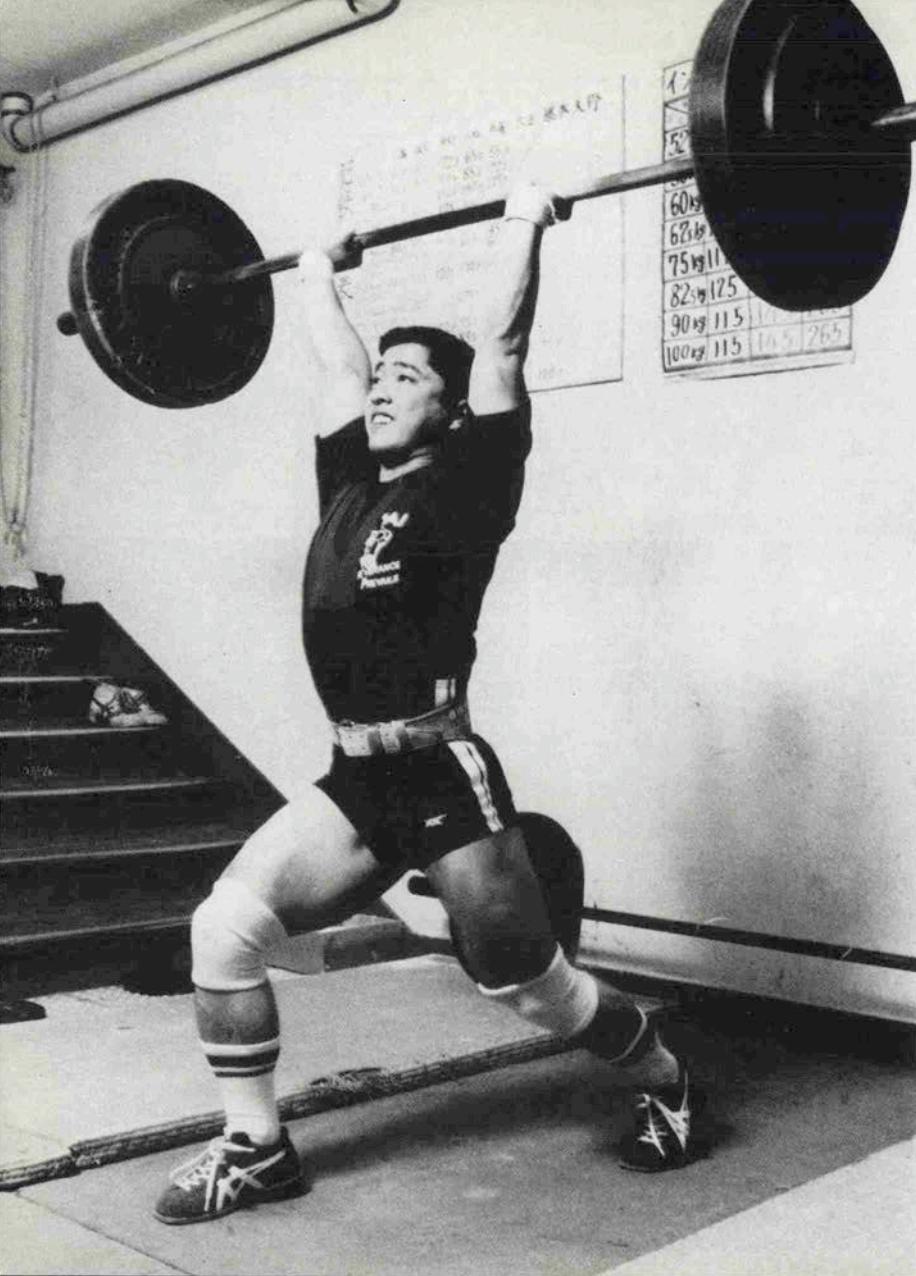
ロスに向つて集中練習

小高正宏

兵庫県立
盲学校教諭

カメラ・松原卓也

淡路町岩屋に育つた小高青年は、幼い頃毎日のようにボートを漕いでいた。鉄棒も懸垂など得意だったという。だから明石北高校に入学後、先輩に誘われウエートリフティングに入部してメキメキ上達したのだろう。インターハイで52kg級優勝を皮切りに、多くのタイトルを獲得した。この時期、指導を仰いだ佐野隆先生から大きな影響を受けている。日体大に進んでからも、練習に励み（本人は、学生時代よく遊んだと言うが）全日本学生選手権の個人の部では3年連続優勝という実績を残している。海外遠征のチャンスにも多く恵まれ、この世界ではベテラン中のベテラン。二年前、兵庫県立盲学校へ保健・体育の教師として赴任。ウエートリフティング部も誕生させた。現在部員は6名で全盲者も一人在籍しているが、稽古ぶりは熱心だ。優秀な顧問が側にいるからこそ、皆張り切っている。4月13日の試合結果でロスオリンピックへの出場が決まる。ソビエト、ブルガリア等共産圏の国々が上位を占めるが、昨年の世界ウエートリフティング選手権では7位だったので、入賞も期待できそう。「30歳までは現役でやりたいので、ソウルも狙います」。試合後、仲間と飲む酒が美味しいそうだ。河合奈保子型ふつくらタイプが好みの24歳。淡路町在住。





・ある集い

日本ケミカルシューズ工業組合 青年部



(上)毎年12月に催されるチャリティバザー

(下)地元区役所にチャリティ収益金を寄附

(上)商品検討会として催されるファッショ族紫陽花の会場

(下)チャリティの収益金で明星寮のクリスマスパーティ

鳴海 正勝

（日本ケミカルシューズ工業組合青年部会長）

過日、某テレビ局の放送で、料理研究家の土井勝先生が、昭和16年に開催される予定だった幻の東京オリンピックの短距離選手として選ばれていたとのこと。そのときの先生は、裸足だったとか。また、往年の中等学校野球大会（現高校野球）で、嘉義農林の選手が裸足だったことは有名な語り草となっている。

そうです、日本人の生活の中で裸足が見られなくなつたのは、まだ足の生活が下駄中心の時代から数十年といったところだ。今や、ビルラッシュ、マンション生活が当然の世代となり、私たちの生活は、好むと好まざるとにかかわらず洋風化され、靴を履く時間は長くなつた。足は人間の生活活動の根源といつて差し支えなく、西洋医学、東洋医学を問わず、足は万病に関係があるので。子供に「手を洗いなさい」という親はあつても特別汚れていない限り「足を洗いなさい」と言わない習慣？が、気付かないまま、通り過ぎている。足も手と同じように、大切に取り扱いたいものだ。

昭和50年に発足した日本ケミカル・シューズ工業組合の青年部会は、靴の専門家としての靴づくりに専念する30名の若い集団。

日本も工業技術院の指導で、全国を対象として、日本人の足を計測、靴のサイズを不充分ながら



勢揃いしたメンバー達(長田のケミカルシューズ産業会館で)

私たちの創った靴を見て下さい。叱つて下さい。そして履いて下さい。私たち靴業界では良い靴のシンボルマークをつくりました。この秋ごろからお目見得の予定です。

可愛いがつて下さい。

ブは私たちなりに、消費者のニーズに応えて、万全とはいかないまでも、統一化を懸案として研究を重ねている。もう随分前のことですが、某新聞で「世界の名産地：云々」というレポートを記憶しているが、「イタリーの靴の今日の名声は、うるさい？消費者から強制されて出来たものだ」また「イタリーでは、国立の靴学校があり、その他の各種職業学校でも、必ず靴科がある」と記載されていた。千年以上の靴の歴史を持つイタリーでは、今になつてもまだ、靴の研究を怠つていない。私たちも、靴づくりのプロである以上、あくまでも消費者の求める履き心地の良い靴を提供する義務がある。

靴は人間の足のためにこそあり、飾り物ではない、ましてや流行の見てくれるために、足の痛さを我慢して履くものではありません。

靴店の店員さんも、午前中に買に来られたお客様に「今は午前ですから、午後いらつしやい」と言うぐらいの気配りが欲しいものです。足は午後になるとふくれ特に夏場には午後買う方がいいのです。

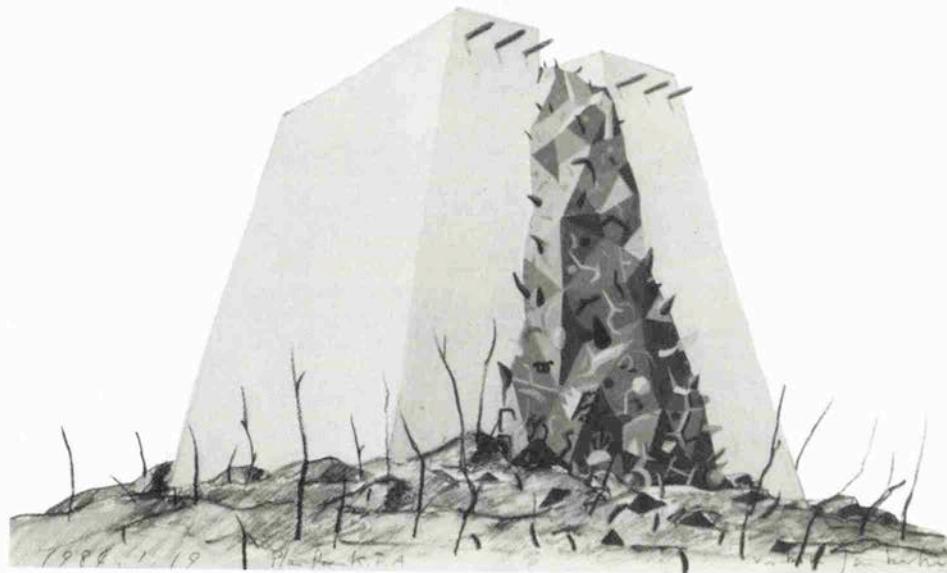
日本ケミカルシューズ工業組合青年部
神戸市長田区大橋町3丁目1-13
(ケミカルシューズ産業会館5F)
TEL 078-641-2525

都市に新しいファッショニズムを送ります。

KOBe WILL '84

神戸ファッションアソシエーション総合個展

昭和59年5月8日(火)~10日(木) 神戸国際展示場



モニュメント製作／椿 異

●KFA 6つの行動目標

- | | | |
|-----------------------|-------------------|----------------------------|
| 1.国際ファッション都市団体との交流、提携 | 2.神戸ファッションマンスの拡充 | 3.神戸ファッション・ダイヤモンド・アベニューの実現 |
| 4.人材育成と教育機関の設置 | 5.ファッション資料センターの設置 | 6.神戸ファッションイメージ会議の設置 |

株式会社赤 燐 瓦 株式会社キムラタン 株式会社金 剛 錦 会 株式会社ダンマース マス ミヤ株式会社 株式会社モード・ジュエル 株式会社ヤ ナ イ
飯 田 洋 株 式 会 社 株式会社キャラバン 株式会社ジャヴァ 東洋ドレス株式会社 株式会社マドンナ 株式会社モード・パビヨン 株式会社ユニバース
株式会社エ ウ ル 株式会社クオーレ 株式会社シャルレ 株式会社バール ミツワ織錦産業株式会社 株式会社モードマヤ 株式会社リオ横山
株式会社エ ル 株式会社ケリ一 株式会社ジユネス 株式会社ファミリア 株式会社ミヤギ 株式会社モードリンダ 株式会社ワールド
株式会社エンパイア - 神戸オールスタイル株式会社 伸和スタイル株式会社 株式会社ホニーランドギル 株式会社モードオリオン モニックレース株式会社 以上34社(50音順)

●KFA 事務局/〒651 中央区浜辺通5丁目1番14号 神戸商工貿易センタービル17F, ☎078(251)0133



畠崎社長。一段と冴えわたった畠崎節。

Heart to Heart

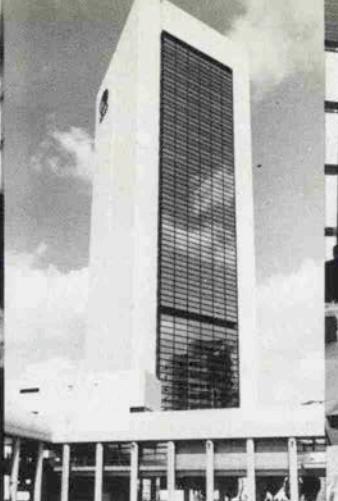
ワールド新社屋竣工

●コウベスナップ

感性、創造、愛の源

ジャヴァ新社屋竣工

細川社長。式典の日が誕生日。43歳。



ワールド新社屋、26階。



直営レストラン「V&V (ヴィアンビ)」26階

ポートピアホテル偕楽の間。暗闇。いきなりマルチスクリーンにイメージショット。映像のラスト近く、壇上にスポットがあり畠崎廣敏社長が浮かび上がる大胆な演出。「たった5人の社員が『ワールド』と名付けて冷やかされたことも。しかし天の利、地の利、人の和で25年」と感無量。3月1日の式典には1000人近くが集った。

東京オリンピックの年創立、爾来20年。ロスオリンピックの今年新ビルが完成した。「成人式を迎えました。理屈より感覚、経験より未来に向かって挑戦したい」と決意も新たな細川数夫社長。童顔、長髪、グレイのタキシード。人柄を反映して、2月15日のポートピアホテル偕楽の間には1000人近くが集った。

ジャヴァ新社屋、14階

ブランドを紹介する展示室。



エトランゼの 輪郭 26

片山 直
なおり

1917／兵庫県に生まれる 1945／大阪中島洋画研究所修 1947／第1回二紀会
展出品、兵庫県美術家同盟会員推举 1971／第11回兵庫県美術祭出品、渡欧
1973、'77／新協美術会会員推举 1978／金山賞候補美術展出品、個展



モデル／ダリア・アナブ

国籍のないミドルティーン

題して「16歳の肖像」。もう2つ歳をとると国籍ができます。一年に一度はお国に帰ります。でも向うは恐ろしいです。神戸が好き、皆さん親切で住みよい街。とダリアさんは言う。

細面で可愛い鼻高、彫が深く目もとがやや青黒く黒真珠のように輝く目が美しい。

お父さんはイスラエル、お母さんはイラン、美術商の家族で神戸に住み着いて10年。絵を描くのが好きな彼女、何処かで絵のモデルも勤めているとか。

流行を追わないスタイルが個性的。黒革のミニタイト、胸にイナズマ型の真赤なワンボイントが印象的。年齢のわりにしつかりした彼女。「ちよつとおませに描き上ったかな…」「いやその方がいいです」と上手な日本語でかすかにほほえみながら一言つぶやいた。どうやら満足のようだつた。

('84春 アトリエにて)



16歳の肖像
(パステル、木炭・66×45)